

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成24年1月26日 (2012.1.26)

【公開番号】特開2011-248991(P2011-248991A)

【公開日】平成23年12月8日 (2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2011-113281(P2011-113281)

【国際特許分類】

G 1 1 B 5/31 (2006.01)

G 1 1 B 5/02 (2006.01)

G 1 1 B 7/135 (2012.01)

【F I】

G 1 1 B 5/31 Z

G 1 1 B 5/31 D

G 1 1 B 5/02 T

G 1 1 B 7/135 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月4日 (2011.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

書込極と、

前記書込極に近接して位置決めされ、エネルギー放射端部を含み、記録媒体に近接して位置する近接場変換器とを備え、

前記エネルギー放射端部は、前記書込極に近い方に第 1 の幅と、前記書込極から遠い方に第 2 の異なる幅とを有するよう成形されている、装置。

【請求項 2】

前記書込極に近接して位置決めされ、光エネルギーを焦点に集束させる導波路をさらに備え、

前記近接場変換器は、前記導波路から光エネルギーを受けるように位置決めされており

、

前記近接場変換器の、エネルギーを受ける端部は、前記導波路の前記焦点の近くにある、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記エネルギー放射端部は、前記第 1 の幅が前記第 2 の幅未満であるよう成形されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記エネルギー放射端部は、前記第 1 の幅が前記第 2 の幅よりも大きいよう成形される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記近接場変換器は、金、銀、銅またはそれらの合金のうちいずれかで作られている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記近接場変換器は、ロリポップ型変換器である、請求項 2 に記載の装置。

## 【請求項 7】

前記エネルギーを受ける端部は、円盤であり、前記エネルギー放射端部は、ペグまたはピンである、請求項 6 に記載の装置。

## 【請求項 8】

前記エネルギー放射端部の断面は、台形および凹んだ台形のいずれかである、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 9】

前記近接場変換器は、結合ナノロッド型変換器である、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 10】

前記結合ナノロッド変換器の前記エネルギーを受ける端部は、結合ナノロッド入射口である、請求項 2 に記載の装置。

## 【請求項 11】

前記エネルギー放射端部は、2つのナノロッド先端の間にあるギャッププロファイルを含む、請求項 10 に記載の装置。

## 【請求項 12】

前記ギャッププロファイルの形状は、台形である、請求項 11 に記載の装置。

## 【請求項 13】

前記2つのナノロッド先端の断面は、実質的に台形である、請求項 11 に記載の装置。